

タイトル…汐製菓会社の新作のポテチ

【登場人物】

汐（しお）（30代）…汐製菓会社の社長。奇抜な発想力を持ち、常に新しいアイデアを追求する。社交的で楽観的な性格で、「面白きことも無き世を面白く」をモットーに生きている。

塩田（しおた）（30代）…汐の秘書。真面目で冷静、几帳面な性格だが、汐の突拍子もないアイデアに振り回されがち。しかし、実は大のお菓子好きで、その愛情から製菓会社に勤めることを選んだ。

【シーン…社長室・新商品のアイデア会議】
（オフィスのドアが開く音）

汐…（興奮気味に）塩田君！新しいアイデアが閃いたぞ！

塩田…（落ち着いた声で）社長、今度はどんな

奇抜なアイデアなんですか？

汐…(自信満々に)ポテトチップスの『アップルパイ味』と『モンブラン味』だ！

塩田…(驚いて)えっ…？アップルパイとモンブランですか？ポテトチップスにですか？

汐…(ニヤリと笑って)そうだ！世の中にまだない味を出すことで、人々を驚かせ、楽しませるんだ！どうだ？面白いだろう？

塩田…(困惑して)確かに…面白いと言えば面白いですが…それって本当においしいんでしょうか？

汐…(大きな声で笑いながら)美味しいかどうかはやってみないと分からないさ！でもね、挑戦こそが進化の鍵なんだよ、塩田君！

【シーン 2： 試作室・ポテチの試作】

（試作室での音、材料が混ぜられる音）

塩田：（実験器具を手に持ちながら）さて、アップルパイ味のポテチを作るって：どうやるんでしょう？

汐：（キラキラと目を輝かせて）簡単さ！りんごのエキスとシナモン、それからサクサクの生地を混ぜればいいんだよ。あとは、それをポテトチップスにコーティングすれば、あっという間にアップルパイ味のポテチだ！

塩田：（半信半疑で）そんなにうまくいくんでしょうか：（小声で）まるでキッチンが化学実験みたいですけど：。

汐：（笑顔で）料理も化学も根本は同じだよ、塩田君！やってみようじゃないか！

【シーン③：社内試食会・第一印象】

（社内のざわざわした音、社員たちが集まる）

社員 A:（興味津々に）これが社長の新作ですか？

社員 B:（慎重に）…アップルパイ味のポテチ？モンブラン味もあるみたいだけど、これは…食べてみないと分からないな。

汐:（自信満々に）みんな、食べてみてくれ！新しい味の可能性を感じるだろう？

（社員たちが恐る恐る試食する）

社員 A:（一口食べて）ん？…これは…思ったよりも悪くないかも？

社員 B:（顔をしかめて）甘いのにしょっぱい…いや、これは…クセになる味だ！

塩田…(ほっとして)社長、意外とイケるかも
しれませんね…。

汐…(勝ち誇ったように)そうだろう！世界中
の人々をこのポテチで驚かせてみせる！

【シーン⇨プロモーション会議・国内外へ
の挑戦】

(会議室での音、ホワイトボードに書き込み
をする音)

塩田…(真面目な顔で)社長、このポテチをど
うやって国内外にアピールしましょうか？

汐…(熱意を持って)もちろん、インターネッ
トでのキャンペーンだ！世界中のインフルエ
ンサーに送って、動画を作ってもらおう！そ
して、SNSで話題にしてもらおうんだ！

塩田…(うなずきながら)なるほど…でも、ポテチの味が斬新すぎて、賛否両論が起きるかもしれませんよ？

汐…(笑顔で)それこそが狙いさ！人々が驚くことで、話題になり、売り上げが伸びるんだ。

塩田君、リスクを恐れてはいけないよ。

塩田…(少し不安そうに)わかりました…やってみます。

【シーン…海外展開・リアルタイムの反応】
(外国のマーケットのざわめき)

外国人A…(驚いた声で)これって…アップルパイ味のポテトチップス？！

外国人B…(笑いながら)これはクレイジーだね！食べてみなきゃ！

外国人〇〇（一口食べて）意外と…悪くないじゃないか！

塩田…（心の中で）うまくいってるみたいですね…社長の直感、やはり侮れません。

汐…（遠くを見つめながら）これで私たちの会社も世界に羽ばたくぞ、塩田君！

【シーン③：最後の試食会・決定打】

（試食会場の賑わい）

塩田…（笑顔で）社長、これだけ反響があれば、このポテチ、新たな定番商品になるかもしれませんね。

汐…（満足そうに）そうだな。だが、これで満足するつもりはないぞ！次のアイデアももう考えているんだ！

塩田…（驚いて）えっ、次は何を考えているんですか？

汐…（ウインクしながら）次は『ラーメン味のポテチ』だ！世界中の胃袋を驚掴みにするぞ！

塩田…（絶句して）ラ、ラーメン味…？社長、それはまた斬新すぎるかと…。

汐…（大笑いしながら）大丈夫、大丈夫！面白いことをやってこそ、世界が笑顔になるんだ！次も楽しみにしていってくれ、塩田君！

（塩田は困惑しつつも、汐の情熱に触発され、頷く）

【エンディング】

（軽快な音楽が流れる中、画面がフェードアウト）

ナレーション…汐製菓会社の挑戦はまだまだ続く。奇抜なアイデアで、次々と新しいお菓子を生み出す汐と、それに振り回されながらも応援する塩田。彼らの冒険は、まだ始まったばかりだ。次回もお楽しみに！

(終わり)